

前略 先に松山基範先生顕彰のことにつき、資料を届けさせていただきました。つきましては、地磁気観測所が備えております来訪者記帳簿に同先生の観測所訪問の手がかりを捜すべく、現所長石川有三氏（昭和50年地物卒）に記名の有無を尋ねておりました。昨日、同封のコピーを届けてまいりました。写しをお届けします。ご覧下さい。

早々

平成20年11月21日

原田 朗

追伸 なお昨日の学士会館午餐会における尾池先生の講演は中国  
←の地震事情について多くを紹介されました。会誌に記録が掲載され  
ましたら、同国の地震研究所に滞在し、同じく同問題に詳しい石川  
氏に写しを届けてお礼といたします。

海軍技手

伊藤庄衛

昭和六年三月七日 上海觀測所長

大吉亮

民國二十年(1931)九月三日

北平中國地質調查所員

李善邦

南京氣象  
研究所員

金詠深

昭和七年三月三十一日

志田順

長谷川万吉

佐々憲三

昭和七年四月九日

海軍主計少将三輪寛

昭和七年四月廿六日 若果観測所 山口 彰彦

鳥取縣

境地方測候所

川上宣孝

佐島

渡邊正七

昭和三十一年四月三十日  
東京女子大学 理系部  
加藤 愛雄

昭和三十一年十月三十日

Many thanks for an enjoyable trip visit. I hope we  
may return your hospitality when you are in Tokyo.  
Sincerely,  
Charles Schmidt

I have been at this famous magnetic Observatory for a little over a week preparing in Georgetown.  
Every moment of my stay here has been thoroughly enjoyable and I have heard much that I am sure  
will be of great help when I return to my country, India. Many many thanks.  
Attaguayfer, Colaba + Bombay, Desaguliers, Bombay  
India.

Thank you for your kindness over for a most interesting time of your  
staying. I am most impressed with the scope of your work and after your  
my best wishes for the success of your projects.  
W. J. Kingston, Bureau of General Research Australia 2/10/52.

昭和三十一年十月十六日 光三十四日 日本地球電気研究会 総会に出る  
二化は幾分。来たところからサイレンは水はけ  
本白晴又快晴。雲一つなし。 TIGERS 対 FLYERS 光三十四戦を用いて。(日対米)  
前田 愛雄

昭和三十一年十月十六日 東京女子大学 理系部 加藤 愛雄  
昭和三十一年十月十六日 東京女子大学 理系部 加藤 愛雄

(参 考)

松山 基範（まつやま もとのり、1884年10月25日 - 1958年1月27日）は、日本の地球物理学者・古地磁気学者。1911年に京都帝国大学理工科大学物理学科を卒業。京都大学名誉教授。山口大学初代学長。

兵庫県の玄武洞ほか東アジア各地の岩石の残留磁化を測定し、1929年に地球磁場の反転説を世界で初めて唱えた。当時彼の説は世界の学界からほぼ無視されたが、1950年代にイギリスを中心として古地磁気学が大きく発展したことで、その正当性が広く認められることとなった。その功績により、地質時代で最後の逆磁極期（249万～72万年前）は松山逆磁極期と名付けられた。

その他、1930年代に測地学の分野でも、朝鮮・満州・台湾・南洋諸島・日本近海の重力測定という業績を残している。特に、日本海溝での負の重力異常発見は当時の国際学会で高く評価された。

1932年、「重力偏差及岩石磁性に関する地球物理学的研究」で大阪毎日新聞東京日日新聞寄附東宮御成婚記念賞受賞。

山口大学初代学長・地球科学史上最も有名な日本人科学者

## 松山基範先生顕彰碑建立

松山基範先生は、京都帝国大学理論地質学講義教授在任中に、世界で初めて時代の変遷に伴って地球の磁極が逆転しているという地球磁場逆転説を提唱いたしました。この理論はやがて広く認められ、松山先生の功績を称えるため、直前の逆転期が松山逆磁極期と命名されました。

戦後は山口大学初代学長に就任し、さらに、山口県ユネスコ協会連盟初代会長として、山口県の教育や文化に貢献いたしました。

そこで、没後五十年を迎えた本年、大学者の功績を称え、後世に残すために、先生が少年期を過ごした下関市高林寺に顕彰碑を建立することとし、松山基範先生を顕彰する会を結成いたしました。

どうか趣旨をご理解の上、募金にご協力賜りますようお願い申し上げます。

### 松山基範先生顕彰碑建立募金にご協力を

平成21年1月25日高林寺（下関市赤池町6-21）にて除幕式予定

一口 1,000円（何口でも結構です）

下の振替用紙を切り取ってご使用ください。

#### 松山基範先生を顕彰する会

名誉会長◎林 義郎（普通高等学校同窓会会長） 顧問◎佐々木孝治（山口大学同窓会会長）  
会長◎登田 春雄（山口大学名誉教授） 村田 昌志（山口県ユネスコ協会連盟会長）  
副会長◎前中 一晃（花柳大学教授） 古川 薫（作家）

事務局 〒752-0902 下関市赤池町6-21 高林寺内 TEL 083-283-1349